

医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院

病院長名	田中 守嗣
所在地	〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町 5 丁目 15 番地
交通案内	JR 東海道線・名鉄三河線で刈谷駅（いずれも名古屋駅より約 20 分）南口より徒歩 15 分／刈谷市の公共施設連絡バス（無料）

病院の特徴

当院は 1962 年に設立され、刈谷市・高浜市並びに豊田自動織機などトヨタグループ 8 社によって運営されています。病床数 704 床、診療科 30 科目を有し、救急車搬入数は県下有数で年間 8,700 台を、手術件数は年間 6,900 件を超えます。

中心となる医療は、急性期医療、専門外来、がん・循環器疾患・脳血管疾患などに対する手術、外来がん化学療法、強度変調放射線治療 (IMRT) 専用装置「トモセラピー」などによる放射線治療、高度な検査などです。2011 年には救命救急センター、災害拠点病院に指定されました。愛知県がん診療拠点病院にも指定されており、がんに対して腹腔鏡や胸腔鏡、内視鏡下手術支援ロボット「ダヴィンチ」による低侵襲手術を積極的に行っています。緩和ケアについては外来から緩和ケア病棟まで十分に整備しています。

研修プログラムの特徴 (外科基幹プログラム)

【特徴】～若手が大きく育ち、輝くチーム～

1. 4 領域の特徴

- ① 消化器: 専攻医 4 年目の若手医師もロボット手術で執刀します！
- ② 呼吸器: 若手医師に執刀のチャンスが多く、多岐にわたる手術を経験できます！ ※原発性肺癌において、ロボット手術が 52%、腹腔鏡が 39%を占めています (2022 年実績)
- ③ 心臓血管: 若くして大動脈手術や開心術を経験でき、難易度の低い手術も豊富です！
- ④ 乳腺: 最新設備とチームワークで働きやすいです！

2. 研修方式を選択できます！

- ① サブスペシャリティ領域の研修を重点的に行う方式
基幹施設または連携施設においてサブスペシャリティ領域の研修を重点的に行いながら、研修修了のために必要な他領域の症例も充足させて研修を行う。
- ② 4 領域スーパーローテ方式
1 年目の基幹施設で、4 領域それぞれのローテ期間を設定して研修し、修了要件を早期にクリアすることを目指す。要件を充足したのち、志望するサブスペシャリティ領域の症例を中心に研修する。

3. 研修申込み時に研修コースを選択できます！

サブスペシャリティ領域が消化器以外の場合は、以下の 3 コースから選択できます (消化器外科の場合は名古屋市立大学消化器外科学教室に入局する場合と入局せずに研修を行う場合とで変わりますので要相談です)。
A) 基幹施設 (当院) で 2 年 6 ヶ月、連携施設で 6 ヶ月
B) 連携施設で 2 年 6 ヶ月、基幹施設 (当院) で 6 ヶ月
C) 連携施設で 2 年、基幹施設 (当院) で 1 年

〔連携施設〕: 名古屋市立大学病院、豊川市民病院、トヨタ記念病院、蒲郡市民病院、知多厚生病院



メッセージ

外科基幹プログラム責任者

(副院長、外科統括部長／小林建司)

当院プログラムのビジョンは将来日本に留まらず世界の第一線で働ける外科医を育てることです。漫然と各領域をローテーションするのではなく、外科専門医取得に必要な最低限の執刀を含めた手術経験を満たしつつ、外科医として早期からサブスペシャリティの領域に特化した研修を積み重ねられるプログラムになっています。専攻医 1 年目からの執刀と専門医が行う手術の助手を繰り返すことによって、技術が身についてきます。症例数が多いからこそできる研修です。これは心臓血管領域においても経験できます。さらにロボット手術施行率: 胃癌 100%、大腸癌 90%、そして 2023 年から肝臓、鼠経ヘルニアにもロボット手術を開始します。刈総外科は 10 年後に第一線で活躍できる外科医を育成しています。専攻医のうちからロボット手術を執刀できる環境、先を見据えた医療提供、それら全てを支える多職種のチームワーク、それが刈谷豊田総合病院の外科です。



募集要項

・採用予定人数	5 人
・給与／月額	55 万～59 万円程度 (他に諸手当、および賞与を支給する)
・当直回数／月	【専門研修 1・2 年目】 救急外来医: 2～3 回 【専門研修 3 年目】 外科当直: 3～4 回
・当直料／回	2.7 万～6.1 万円
・その他	宿舎あり 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険
・応募連絡先	担当者 臨床研修センター 中村 電話番号 0566-25-8345 E メール KTGH.kenshu@toyota-kai.or.jp